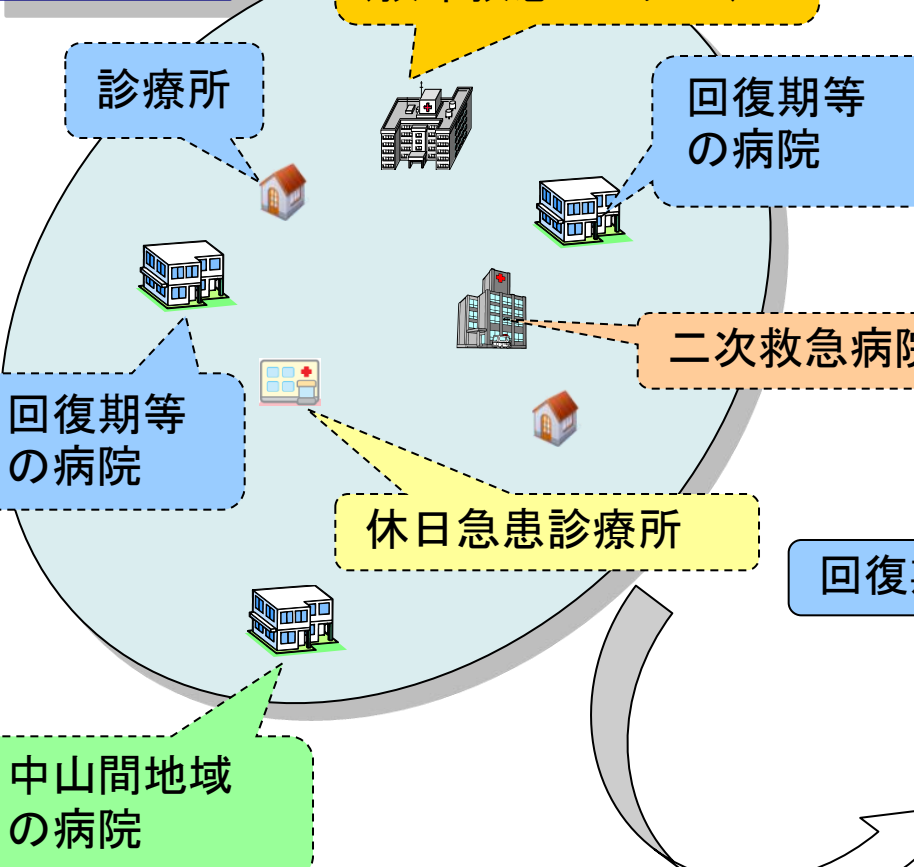
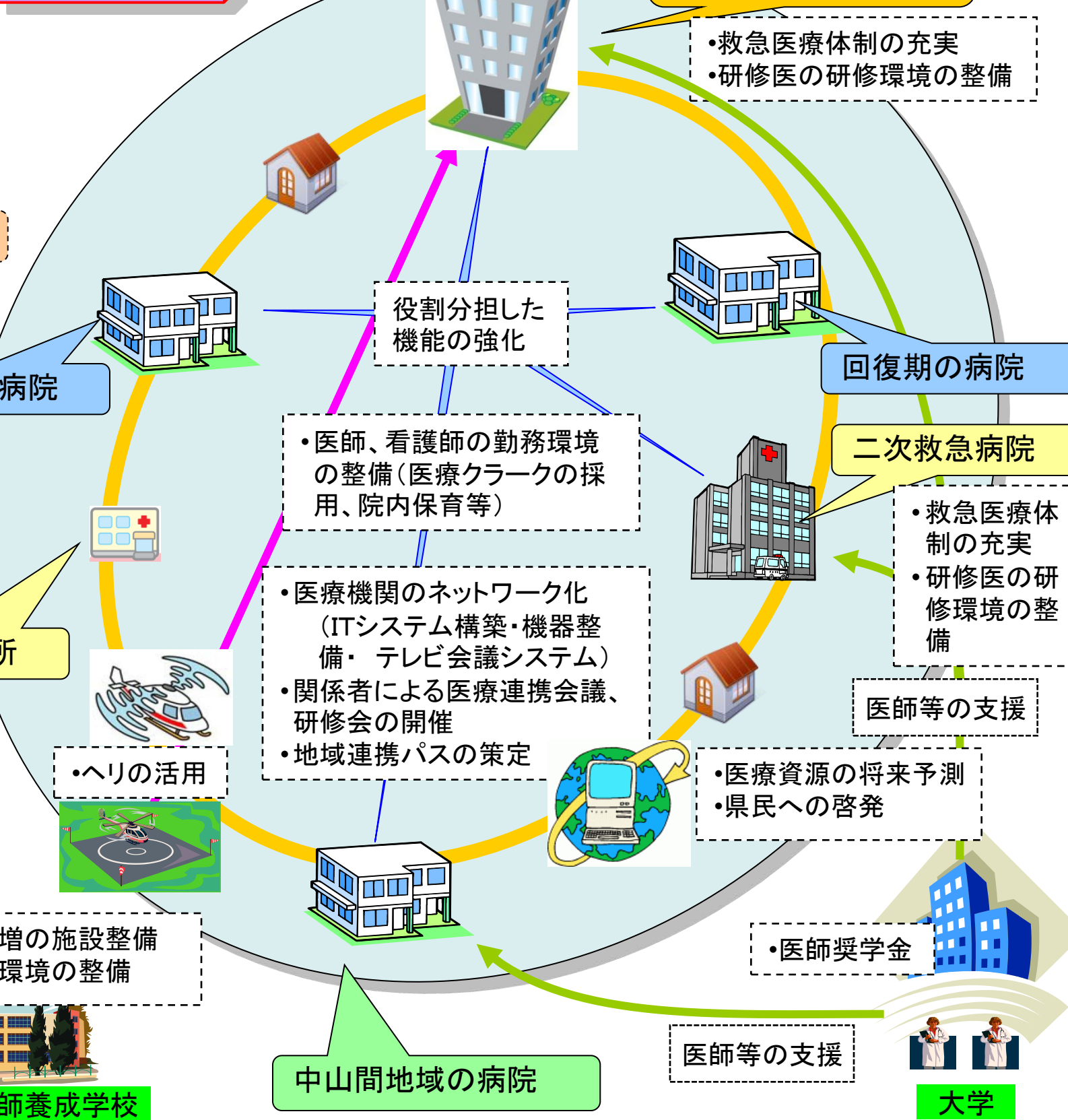


鳥取県地域医療再生計画(東・中部:救急医療、医療連携等に重点化)

現状



実施後



課題

- 医師・看護師の不足により、医師・看護師の確保や負担軽減が必要。
- 救急医療体制の充実と搬送体制の充実が必要
- 限られた医療資源を有効活用するため、ITを活用した連携体制の構築・整備が必要
- 医療連携等の県民への周知が必要

看護師養成学校

中山間地域の病院

医師等の支援

大学

東・中部医療圏を基本とする地域における課題を解決する方策

1 課題を解決する方策

① 課題 : 医師、看護師の不足により、病院勤務医や看護師の負担が増大し、その役割を十分に果たすことができていないことから、医師、看護師の確保や負担軽減が必要。

目標 : 医療提供体制を担う医療従事者を安定的に確保する体制を構築する。

対策 : 医師、看護師不足への対応（10.1億円）

- (1) 医師の確保の推進は、地域への医師の定着を図る奨学金制度や必要な医師数など医療資源の将来予測を行うものである。
- (2) 勤務医の処遇改善・離職防止は、医師等の環境改善のための医療クランクへの支援や臨床研修医の研修環境を整えるものである。
- (3) 看護師の確保の推進は、看護師養成所の新設・定員増に伴う施設整備への支援や教育環境・実習環境の整備への支援を行うものである。
- (4) 看護師の資質の向上・離職防止は、認定看護師の養成への支援や安心して勤務継続や再就業できる環境整備への支援を行うものである。

② 課題 : 初期、二次、三次の救急医療体制の充実と医療用ヘリコプターを活用した搬送体制の充実が必要。

目標 : 救急医療体制の充実により、安心して質の高い医療提供体制を構築する。

対策 : 救急医療体制の整備（2.9億円）

- (1) 救急医療体制の整備は、ヘリコプターを活用した救急医療体制の整備、救命救急センターを始めとした救急医療体制や災害医療体制の強化への支援を行うものである。

東・中部医療圏を基本とする地域における課題を解決する方策

- ③ 課題 : 限られた医療資源を有効活用するために、ITを活用した遠隔画像診断や診療情報の共有化を推進するなどスムーズな連携体制を構築するための整備が必要。
- 目標 : 医療機関の役割分担と連携により、安心して質の高い医療提供体制を構築する。
- 対策 : 地域医療連携体制の構築（12.2億円）
- (1) 連携の推進及び資質の向上は、地域の医療機関の連携を推進する地域連携パスの策定や研修会の開催への支援、医療機関の連携・役割分担等の啓発を行うものである。
 - (2) 連携システムの構築は、医療従事者が現場を空けることなく研修、連携会議できるテレビ会議システムの構築を行うものである。
 - (3) 地域に必要な施設・設備整備は、医療連携を図り質の高い地域医療を実現するためのIT化への整備への支援、医療機関の役割分担に対応した整備への支援を行うものである。

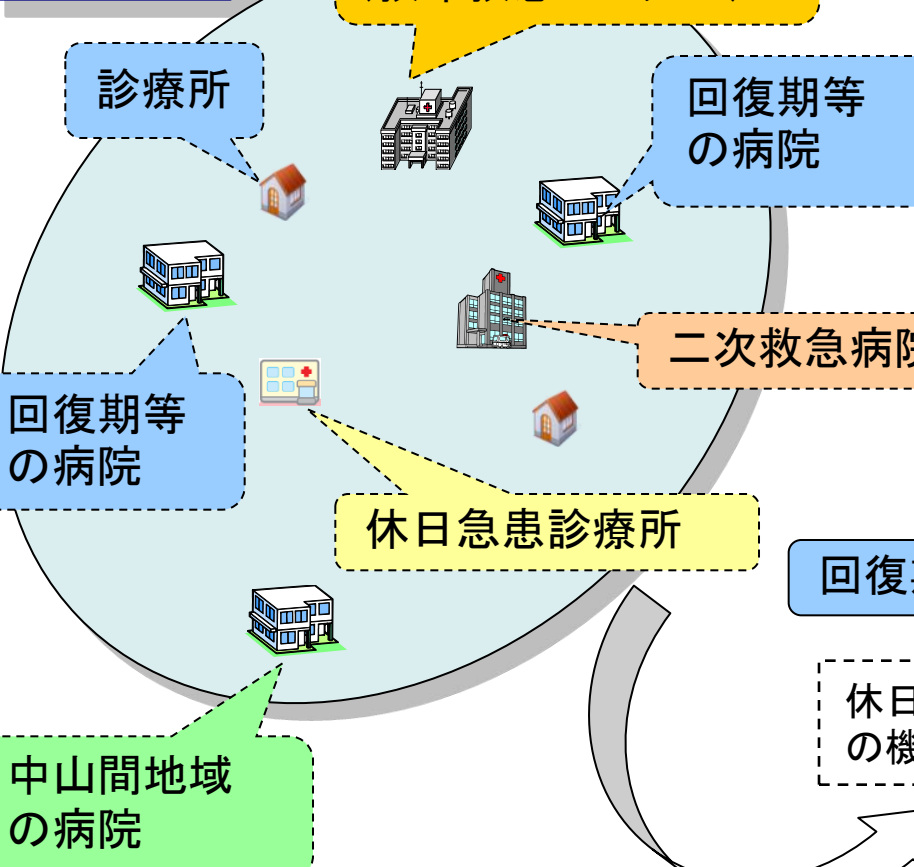
2 地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、医師・看護師の増加や働きやすい環境が整えられ、医療提供体制を担う医療従事者が安定的に確保され、救急医療機関の整備や搬送体制の強化により救急医療体制が充実し、ITを活用した中山間地域の医療を支える遠隔医療や地域の医療機関と基幹病院等が診療情報を相互に参照できる鳥取型の連携体制を構築するなどにより医療連携・役割分担が推進される。

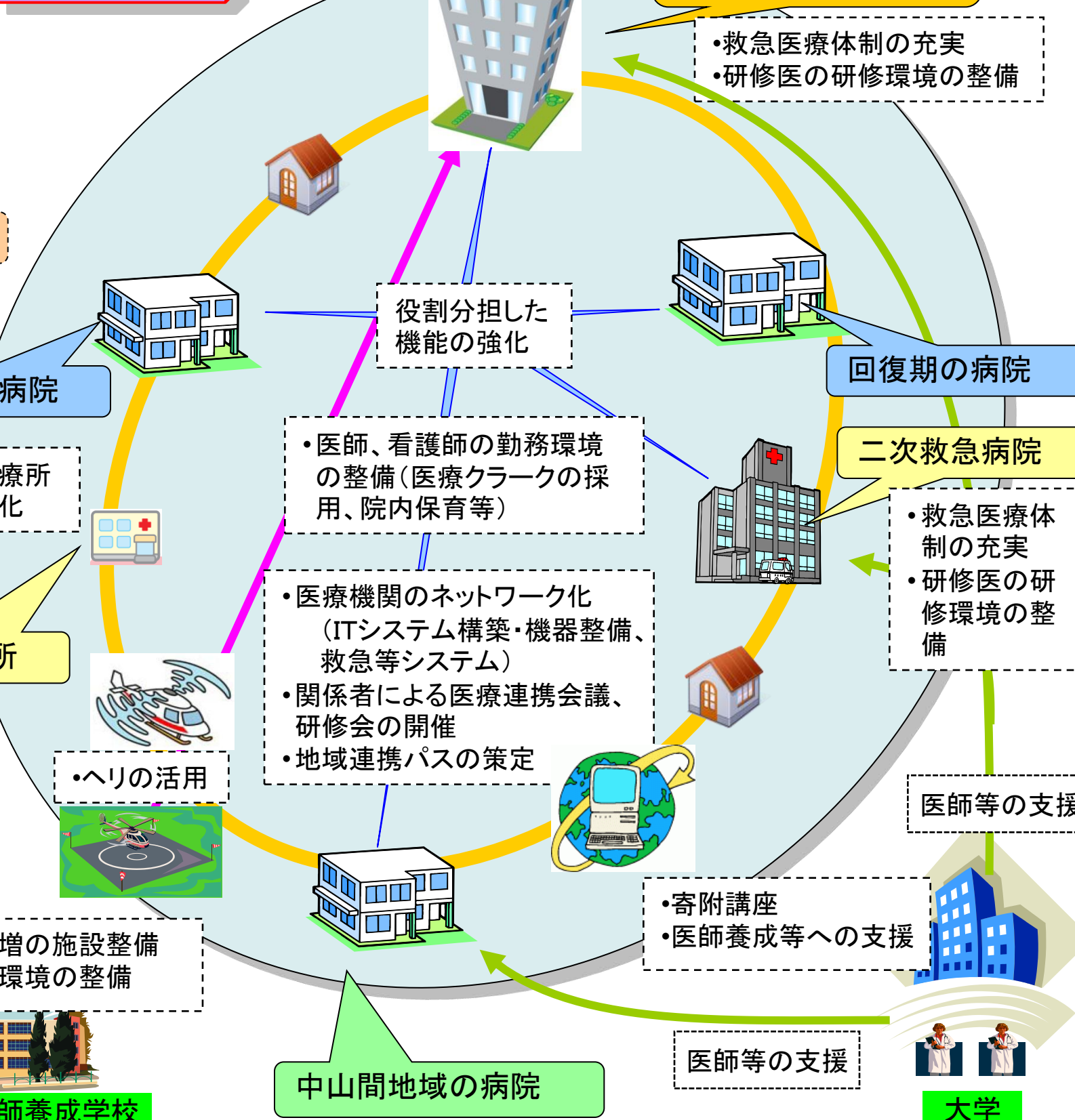
これらにより住民ニーズに応えられ安心して質の高い医療提供体制が持続される。

鳥取県地域医療再生計画(西部:救急医療、医療連携等に重点化)

現状



実施後



課題

- 医師・看護師の不足により、医師・看護師の確保や負担軽減が必要。
- 救急医療体制の充実と搬送体制の充実が必要
- 限られた医療資源を有効活用するため、ITを活用した連携体制の構築・整備が必要
- 医療連携等の県民への周知が必要

看護師養成学校

中山間地域の病院

大学

西部医療圏を基本とする地域における課題を解決する方策

1 課題を解決する方策

① 課題 : 医師、看護師の不足により、病院勤務医や看護師の負担が増大し、その役割を十分に果たすことができていないことから、医師、看護師の確保や負担軽減が必要。

目標 : 医療提供体制を担う医療従事者を安定的に確保する体制を構築する。

対策 : 医師、看護師不足への対応 (8.6億円)

(1) 医師の確保の推進は、大学の寄附講座開設や必要な医師養成への支援を行うものである。

(2) 勤務医の処遇改善・離職防止は、医師等の環境改善のための医療クランクへの支援、若手医師への魅力向上や臨床研修医の研修環境を整えるものである。

(3) 看護師の確保の推進は、看護師養成所の新設・定員増に伴う施設整備への支援や教育環境・実習環境の整備への支援を行うものである。

(4) 看護師の資質の向上・離職防止は、認定看護師の養成への支援、新卒看護師の卒後研修、安心して勤務継続・再就業できる環境整備への支援を行うものである。

② 課題 : 初期、二次、三次の救急医療体制の充実が必要。

目標 : 救急医療体制の充実により、安心して質の高い医療提供体制を構築する。

対策 : 救急医療体制の整備 (6.4億円)

(1) 救急医療体制の整備は、救命救急センターや休日急患診療所などの救急医療体制や災害医療体制の充実強化への支援を行うものである。

西部医療圏を基本とする地域における課題を解決する方策

- ③ 課題 : 限られた医療資源を有効活用するために、ITを活用した遠隔画像診断や診療情報の共有化を推進するなどスムーズな連携体制を構築するための整備が必要。
- 目標 : 医療機関の役割分担と連携により、安心して質の高い医療提供体制を構築する。
- 対策 : 地域医療連携体制の構築（10.2億円）
- (1) 連携の推進及び資質の向上は、地域の医療機関の連携を推進する地域連携パスの策定や研修会の開催への支援、医療機関の連携・役割分担等の啓発を行うものである。
 - (2) 連携システムの構築は、ITを活用した医療機関のネットワークシステムを構築するとともに、救急・周産期等システムの充実を行うものである。
 - (3) 地域に必要な施設・設備整備は、医療連携を図り質の高い地域医療を実現するためのIT化への整備への支援、医療機関の役割分担に対応した整備への支援を行うものである。

2 地域医療再生計画終了時の姿

この地域は、医師・看護師の増加や働きやすい環境が整えられ、医療提供体制を担う医療従事者が安定的に確保され、救急医療機関の整備により救急医療体制が充実し、ITを活用した中山間地域の医療を支える遠隔医療や地域の医療機関と基幹病院等が診療情報を相互に参照できる鳥取型の連携体制を構築するなどにより医療連携・役割分担が推進される。

これらにより住民ニーズに応えられ安心して質の高い医療提供体制が持続される。